

予算特別委員会での質疑応答

質問 西武線沿線地域連携事業について負担金170万円が計上されているが、内訳について伺う。

答弁 西武線沿線サミット実行委員会負担金20万円は、沿線エリア全体の魅力を発信し、来訪者の増加や地域のブランド力の向上を図るため、新たに西武池袋線・西武秩父線沿線の自治体および西武鉄道で構成される西武線沿線サミット実行委員会に参画するため計上。

地域活性化プロジェクト負担金150万円は、本市と清瀬市および清瀬市観光協会ならびに両市の商工会の5者で実行委員会を立ち上げ、市域を越えた街バルを実施するため計上。本事業は、東京都の補助金を見込んでおり、歳入として100万円を計上する。

質問 一般廃棄物処理基本計画及び災害廃棄物処理計画改定支援委託について、本計画の目的と、見直しにおいて特に重視している点について伺う。

答弁 一般廃棄物処理基本計画の見直しに当たっては、これまでの個別施策の実施状況の検証を行い、廃棄物処理の現状や今後の社会・経済情勢の変化、そして市民の要望といったものを十分に反映させることなどを重視しながら進める。またあわせて、国や東京都が定めた数値目標等も参考にして、ごみ処理に関する目標値を定めていく。

質問 ATM口座振替受付業務の概要と受付サービスの開始時期について伺う。

答弁 セブン銀行ATMを活用した口座振替登録サービスの導入を考えている。登録に申込書の記入や銀行印の押印は不要で、市から送付した二次元コードをATMにかざし、キャッシュカードの読み込みと暗証番号および連絡先の入力で完了となる。全国のセブン銀行ATMで口座振替の登録が可能。開始時期は、令和8年10月を予定している。

質問 市民が道の駅を望んでいるのか、機運が高まっているのか、そのような点について調査は行っているのか。それとも今後行うのか伺う。

答弁 国土交通省が掲げる道の駅のコンセプトが「地域とともにつくる個性豊かなにぎわいの場」であるので、今後取り組む基本構想の策定に当たっては、市民や事業者、関係団体など、さまざまな場面で広く御意見を伺うことを考えている。

質問 防災行政無線網管理事業について予算が増額となっている。その理由、主な要因について伺う。

答弁 Jアラート受信機更新工事および防災行政無線同報系システム操作卓更新工事を計上している。Jアラート受信機はソフトウェアサポート終了のため更新する。防災行政無線同報系システム操作卓は老朽化のため更新する。

令和8年度予算の主な新規事業	
事業名	予算額
予約窓口の実施（フロントヤード改革）	1,701万9千円
ATM口座振替受付業務委託	581万9千円
西武線沿線地域との広域的な連携	170万8千円
道の駅設置に向けた検討	386万5千円
防災行政無線同報系システム操作卓更新工事	8,690万円
子供の広場整備工事	1億1,755万7千円
児童発達支援センターわかくさ学園空調機更新工事	5,822万5千円
子ども誰でも通園制度の実施	1億2,635万9千円
滝山第一・第二学童保育所、南町学童保育所運営業務委託	1億1,320万円
一般廃棄物処理基本計画及び災害廃棄物処理計画改定	1,375万円

令和8年度予算の主な継続・拡大事業	
事業名	予算額
公共施設スリム化に向けた基礎調査	2,195万6千円
東部地域センター空調機更新工事	8,746万4千円
東村山都市計画道路3・4・13号線及び3・4・21号線整備事業	8億6,488万4千円
道路舗装補修工事等	2億2,877万円
未就園児の多様な他者との関わりの機会の創出補助	3億8,832万7千円
子ども計画の策定	515万円
小山小学校増改築工事	2億9,225万6千円
学校生活アンケート事業	104万1千円
自閉症・情緒障害特別支援学級の開設（第七小学校）	1億3,568万9千円
ナラ枯れ対策のための樹木伐採	5,000万円

質問 道路舗装補修工事5ヵ年計画（第4期計画）で位置付けられながら未対応・未整備となり、第5期計画で対象外である事後保全型の対象となった路線について舗装補修工事の考え方、見解について伺う。

答弁 第4期の計画で計画期間内に補修することが望ましいとされていた計画保全型の道路の一部が事後保全型の道路に移行しているが、舗装補修が中止となったわけではなく、令和7年度では、計画保全型から事後保全型に移行した路線の舗装補修を実施している。また、令和8年度でも事後保全型に移行した路線の舗装補修を予定している。

質問 こども計画を策定するに当たり、どのようなアンケート調査を行い、どのような回答があったのかを伺う。

答弁 アンケート、オンライン（くるりっど）、市民まつりでの対面の3手法により、意見聴取を実施した。小学生は日常生活の悩みや遊び場への要望、中学生は学校生活への不満や将来不安、高校生は進学・まちづくりへの提案、若者世代は経済的不安や市の利便性などへの意見が中心であった。

質問 学校生活アンケート事業委託におけるアンケート実施について、不登校の未然防止における活用について伺う。

答弁 学校生活アンケート hyper-QU から得られるデータを活用することで、早期発見、早期対応、個別支援の充実、学級環境の改善、さらに教職員間の連携強化などにおいて、不登校の未然防止に活用できるよう努力している。今後も、本調査で児童・生徒の心理状態を数値化し、見過ごしがちなサインを早期に察知することで、一人一人の課題に応じた適切な支援計画を検討する。

予算案に対する各党派の意見表明・賛否討論(要約)続き

3面から続く

日本共産党

以上により一般会計予算案に反対する。

国民健康保険特別会計予算案は、国民健康保険税例の一部を改正する条例が

会派米ハートネット

東久留米新時代を切り開け!

一般会計予算総額50億円、前年度と比べ32億円も増加。富田市長1期目最初に提案した一般会計予算総額は40億円。4年で90億円も増加。このペースで予算総額が増えれば、財政破綻への道まっしぐら。

市民の経済不安の解消を重視した予算編成を

令和8年度一般会計予算案について、原案に反対し、予算特別委員会で提出された組み替え動議に賛成する。市民の暮らしはいよいよ深刻な状況となり、これまで

「ローウエール」

現実的かつ妥当な予算に賛成!

本予算案は、一般会計50億2,200万円、前年度比6.4%増、また、特別会計を含めた総額約74.66億5,000円、前年度比5.9%増とするものであり、物価

中議会立憲民主

相談しやすい市役所へDX推進と人材活用を

市長1期目最初の予算審査となった。1期目は「あんしんして暮らせるまち」に向け、3つの重点事項の取り組みを着実に進めた。2期目は歳入構造の変革を

東久留米維新の会

「新しい東久留米」に向けた挑戦に期待

富田市長は所信表明において「新しい東久留米」に向けた東久留米駅からはじまる「新しいまちづくり」「スマートで市民に優しい」「新しい」市役所へ

国民民主党

負担増なく満足感ある市政へデジタルを活用

市が市民負担を今以上に重くせずに市民が求めるサービスを提供し、いかに満足感を高めるかは、市民と行政の連携が課題である。この課題に対する有効な

「令和8年度予算案」に賛成します

予算編成における基本方針に「基本構想に掲げるまちの将来像『みんないきいき活力あふれる湧水のまち東久留米』の実現に向けて、各施策を着実に推進するこ

市民負担増となることから反対する。

介護保険特別会計予算案は、介護保険条例の一部を改正する条例が、被保険者や自治体の負担増となることから反対する。

後期高齢者医療特別会計予算案は、健康診査の自己負担増は、財政破綻への道まっしぐら。

今の大問題点は、財政調整基金を投入しなければ予算編成ができないこと。予算総額の増加は、行政組織の肥大化であり、人件費総額は前年度と比べ2億7,000万円増加。行政が肥大化するれば市民負担も増加する。

で以上に市民の経済的不安の解消に寄り添ったものであるべきと考えます。

市政の課題については、①地域国際化事業の減額、②庁舎2階に開設されるフロアの職員体制、③級地区分の課題解消、④学童保育への民間活力の導入、⑤福祉有償タクシーの対策、⑥青年期の余暇活動への取り組み

高騰や社会保障の増加といった厳しい環境の中において、市民生活を守るために必要な財政施策を行ったものとして評価する。

加えた4つの柱を中心に、持続可能なまちづくりに取り組む決意が表明された。新たな行政需要も増えている中、将来世代への投資や支援が不可欠であると考えれば、事業の取捨選択や公共施設の財源あるいは規模見直し等は避けられない。限られた資源で持続可能な行政サービスを提供する

「新しい」学校で子どもたちの未来を拓く「環境・経済の好循環」「新しい」視点で持続可能なまちの4つの挑戦を示した。道のりは平たんではないが、厳しい財政状況と限られた人材で新しい東久留米に向かうためには、さらなる行政改革が必要。挑戦し続けなければ何も手に入

「新しい」学校で子どもたちの未来を拓く「環境・経済の好循環」「新しい」視点で持続可能なまちの4つの挑戦を示した。道のりは平たんではないが、厳しい財政状況と限られた人材で新しい東久留米に向かうためには、さらなる行政改革が必要。挑戦し続けなければ何も手に入

方策として、市のデジタルを活用した意見聴取を評価する。市民ニーズを可能な限り低コストで調査し、事業の質と内容を調査結果に対応したものとするためのデジタルの活用は、今後ますます求められると考えます。

「新しい」学校で子どもたちの未来を拓く「環境・経済の好循環」「新しい」視点で持続可能なまちの4つの挑戦を示した。道のりは平たんではないが、厳しい財政状況と限られた人材で新しい東久留米に向かうためには、さらなる行政改革が必要。挑戦し続けなければ何も手に入

と」とある。公約にも「水と緑の継承」が掲げられていた。水と緑は、市民にとって誇れるものであり、宝である。引き続き水と緑が守られていくことを願う。

国民健康保険特別会計では、独立採算の原則を踏まえ、法定外繰り入れを可能な限り抑制すること。財政の透明化と安定化につ

私はこれ以上市民負担を増やす気はないので、歳出削減しかない。

公共施設マネジメントやデジタル化など具体的な政策の取り組みにより財政効果を生み出さなければいけない。それができなければ東久留米市の将来はない! その覚悟と決意を求めてすべての予算に賛成。

み、⑦図書館行政、⑧市史編さんの着手、⑨「行政経営ビジョン2026-2029」の再考、⑩市民協働の取り組みの検討を求める。国民健康保険特別会計予算については、値上げ改定は受け入れないと考え、反対。2特別会計および下水道事業会計予算については、意見を付することなく賛成。

予算案は、こうした困難な時代において、市民生活を守る「守り」と将来への投資である「攻め」の双方を兼ね備えた極めて現実的かつ妥当な内容と考えます。

以上を申し上げ、一般会計予算について賛成、3特別会計予算および下水道事業会計予算については、意見を付することなく賛成。

ためには、デジタル技術を活用し、業務改善の取り組みを行うことは必要不可欠DX推進の取り組みを積み重ね、オンラインとリアルの強化を図りながら「お手間を取らせない市役所」の実現を目指すことで、高度な業務への人的資源をシフトする人材活用の推進を要望し、予算案に賛成する。

「新しい」学校で子どもたちの未来を拓く「環境・経済の好循環」「新しい」視点で持続可能なまちの4つの挑戦を示した。道のりは平たんではないが、厳しい財政状況と限られた人材で新しい東久留米に向かうためには、さらなる行政改革が必要。挑戦し続けなければ何も手に入

という方向へかじを切り、継続しようとする姿勢が予算に表れていると考えます。以上のことから、本予算案による市民ニーズの把握とサービスの質と内容の向上を期待し、一般会計予算案に賛成します。また、3特別会計予算案および下水道事業会計予算案は、意見を付することなく賛成する。

「新しい」学校で子どもたちの未来を拓く「環境・経済の好循環」「新しい」視点で持続可能なまちの4つの挑戦を示した。道のりは平たんではないが、厳しい財政状況と限られた人材で新しい東久留米に向かうためには、さらなる行政改革が必要。挑戦し続けなければ何も手に入

なるかと考える。税率改定に当たり、低所得者へ配慮がなされたことに安心した。誰にとっても住みやすい東久留米市が実現し続けるようお願い、一般会計予算案および国民健康保険特別会計予算案に賛成する。また、2特別会計予算案および下水道事業会計予算案は、意見を付することなく賛成する。

「新しい」学校で子どもたちの未来を拓く「環境・経済の好循環」「新しい」視点で持続可能なまちの4つの挑戦を示した。道のりは平たんではないが、厳しい財政状況と限られた人材で新しい東久留米に向かうためには、さらなる行政改革が必要。挑戦し続けなければ何も手に入

「新しい」学校で子どもたちの未来を拓く「環境・経済の好循環」「新しい」視点で持続可能なまちの4つの挑戦を示した。道のりは平たんではないが、厳しい財政状況と限られた人材で新しい東久留米に向かうためには、さらなる行政改革が必要。挑戦し続けなければ何も手に入

「新しい」学校で子どもたちの未来を拓く「環境・経済の好循環」「新しい」視点で持続可能なまちの4つの挑戦を示した。道のりは平たんではないが、厳しい財政状況と限られた人材で新しい東久留米に向かうためには、さらなる行政改革が必要。挑戦し続けなければ何も手に入

「新しい」学校で子どもたちの未来を拓く「環境・経済の好循環」「新しい」視点で持続可能なまちの4つの挑戦を示した。道のりは平たんではないが、厳しい財政状況と限られた人材で新しい東久留米に向かうためには、さらなる行政改革が必要。挑戦し続けなければ何も手に入

「新しい」学校で子どもたちの未来を拓く「環境・経済の好循環」「新しい」視点で持続可能なまちの4つの挑戦を示した。道のりは平たんではないが、厳しい財政状況と限られた人材で新しい東久留米に向かうためには、さらなる行政改革が必要。挑戦し続けなければ何も手に入